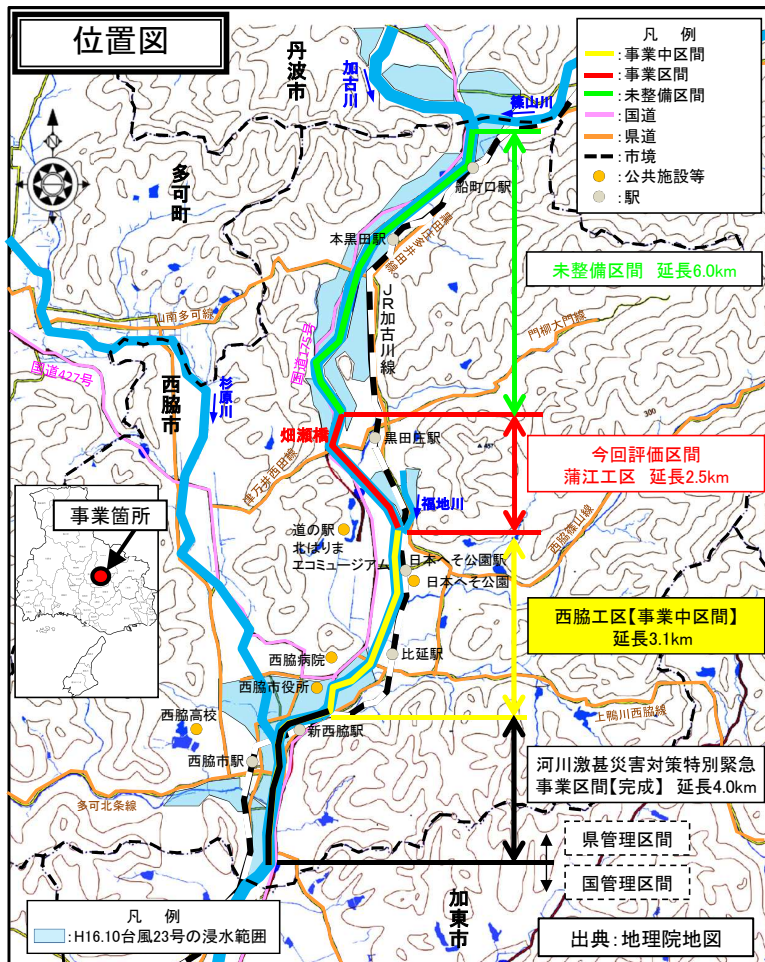


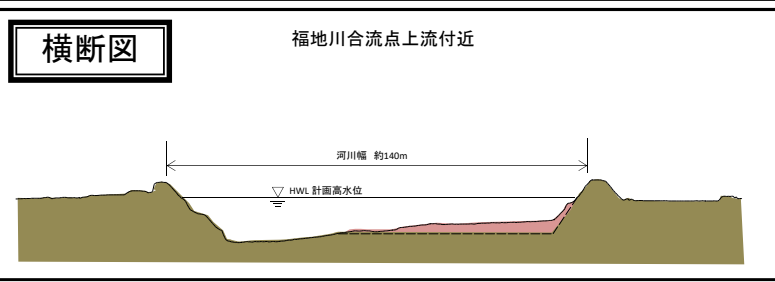
河川事業 一級河川加古川水系加古川(蒲江工区)〔西脇市〕



事業概要

事業区間：福地川合流地点(43.374k)から畑瀬橋上流(45.8k)
 総事業費：9.6億円
 内地地補償費：0.1億円
 事業期間：R6～R15(2024～2033)
 事業概要：河床掘削、築堤
 延長：約2.5km
 費用便益比B/C：1.4 (河川整備計画に位置づけられた加古川本川の河川改修事業によるB/C)

目的 河川整備計画に基づく治水安全度の向上(昭和58年9月洪水(秋雨前線及び台風第10号)と同程度の洪水を安全に流下させる)



工程表

工程	年度									
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
調査設計	■	■	■	■						
用地補償									■	
工事					■	■	■	■	■	■

事業の必要性、有効性・効率性、優先性

- 加古川では、昭和58年9月台風第10号や平成16年10月台風23号、平成23年9月台風12号など、過去から度重なる浸水被害が発生している。これらの浸水被害に加え、気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、早急な治水安全度の向上が必要である。
- 加古川の計画流量2,100m³/sに対し、現況が約1,700m³/sと低いため、浸水被害防止に向け、治水安全度の向上が必要である。
- 国、県、市で構成する「加古川中流部河川整備促進協議会」を設置し、連携・調整を図りながら事業を実施している。
- 当該区間の進捗状況は、上流未整備区間などの着手時期に影響を与えるため、着実な進捗が求められる。

現況写真・被災状況

